

自己点検・評価報告書

作成日: 2024/4/1

日本語教育機関名: 日亜外語学院
設置代表者: 國場 勉
報告書作成者: 若林 肇

◇簡潔に記述

1.1
理念

語学を学ぶということは、言葉だけでなくその国の持っている文化や風俗・習慣・国民性なども理解しなければなりません。そこで、本校では最良の学習環境及び生活環境を提供するため、日々努力しております。

1-2
教育目標

本校は日本語能力を備えた人材を育成し、学生が進学または関係のある分野へ進む為のサポートを主な教学目標として掲げており、各学生が自身の理想とする学校へ進学できるよう指導しております。

◇「日本語教育機関の運営に関する基準」適合状況（適合している項目の確認欄に■）

基準	観点	確認
18	設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合している。	■
8, 9~12	校長、主任教員及び教員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定める要件を備えている。	■
13	教育機関として適切な位置環境にある。	■
14, 15	安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されている。	■
16	校舎面積等は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合している。	■
16③ 内規13(2)	教室及びその他の施設は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合している。	■
21	定期的に健康診断を実施している。	■

◇評価項目

基準	観点	評価
2 組織		
2.1	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質が明示され、かつ教員がこれらを有していることを確認している。	[A]
2.2	生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限が明確化されている。かつ、これら担当者は学生及び教職員に周知されている。	[A]
2.3	入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。	[A]
2.4	教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。この取り組みは教育活動、学校運営についての評価結果及び教員による継続的専門能力開発の必要性に対する見解を考慮に入れている。 注: 教員による継続的専門能力開発は以下の事項を含む。 ・ 教科に関する教授法、学習方法に関する最新研究 ・ 文化的コンピテンス及び異文化間コンピテンス ・ 教授能力の向上、補助教材及び人的・物的資源の活用(教育 工学・情報技術を含む) ・ 日本語学習のアセスメント手順 ・ クラス運営能力	[A]
2.5	教員及び職員の評価を適切に行っている。 評価に際しては評価基準、評価方法を明確化し、評価結果をフィードバックしている。	[A]

* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)

・教職員の採用段階で求める人材の要件が明示され、採用後は教育の質の維持・向上を目指して多角的に会議などを行っている。
・生活指導責任者及び入国管理局事務担当者は問題なく機能している。
・入国管理局の申請等取次者は現在3名配置している。
・教員及び職員の教育の質や評価については見直しの時期にきており、速やかに策定する予定である。

3 財務

3.1	財政状況は、中長期的に安定している。	[A]
3.2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	[A]
3.3	適正な会計監査が実施されている。	[A]

* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)

毎月税理士さんに経営判断を仰ぎ経営判断を行っている。

4 教育環境

4.1	すべての教室は、語学学習を行うのに必要な遮音性が確保され、十分な照度があり、換気がなされている。必要な場合は冷房又は暖房されている。	[A]
4.2	教室は、双方向の日本語学習を促すよう設計されている。	[A]
4.3	授業時間外に自習できる部屋が確保されている。	[A]
4.4	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	[A]

4.5	視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されている。	[A]
4.6	法令上必要な設備等が備えられている。	[A]
* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)		
法令上必要な設備等が備えられているが今後ITを利用した授業を積極的に取り入れて授業での有効な使用、学生の自主教材としての活用等の整備に努めたい。		
5 安全・危機管理		
5.1	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて、留学生保険にも加入している。	[A]
5.2	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている。	[A]
5.3	感染症発生時の措置を定めている。	[A]
5.4	危機管理体制が整備されている。	[A]
5.5	気象警報発令時の措置、火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、教員、職員、学生に周知されている。	[A]
5.6	災害等に対する避難訓練を定期的実施している。	[A]
* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)		
学生全員が学校で国民健康保険に加入し合わせて日本語学校協同組合の傷害保険に加入している。台風時など災害については都度インターネット媒体及び電話連絡で対処している。		
6 法令の遵守等		
6.1	法令遵守に関する担当者を特定している。	[A]
6.2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	[A]
6.3	個人情報保護のための対策がとられている。	[A]
6.4	入国管理局、日振協、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	[A]
* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)		
コンプライアンス意識を高めるために定期的に情報を発信している。		
7 運営方法等		
7.1	管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営がなされている。	[A]
7.2	意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能している。	[A]
7.3	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的かつ組織的に行われている。	[A]
7.4	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額と納付時期、及び学費以外に入学後必要になる費用が募集要項等に明記されている。	[A]
7.5	入学前に学習者又は経費支弁者が理解できるよう、募集要項等に支払方法について明記している。	[A]
7.6	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	[A]
7.7	学生又は経費負担者から求められた場合、納付金を受領したことを証する書類(領収書等)を発行して	[A]
7.8	入学希望者・在籍者及びその利害関係者(経費支弁者等)の理解できる言語で情報提供を行っている。	[A]
* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)		
・管理運営に関しては法令を順守し、効率的に機能している。・入学前後に関しても現在問題は発生していない。		
8 学生募集と入学選考		
8.1	機関に所属する職員が直接入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	[A]
8.2	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報が開示され、印刷物あるいは電子データにより、入学志願者等に提供されている。	[A]
8.3	求める学生像を明示している。	[A]
8.4	募集活動を行う国・地域の法令を遵守した募集活動を行っている。	[A]
8.5	海外の募集代理人(エージェント等)に最新、かつ、正確な情報提供を行っている。	[A]
8.6	海外の募集代理人(エージェント等)の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	[A]
8.7	入学選考基準及び方法が明確化されている。	[A]
8.8	学生情報を正確に把握し、併せて提出書類により確認を行っている。	[A]
8.9	受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	[A]
* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)		
職員が直接現地に赴き、オリエンテーションを通じ学費・教育内容・日本でのルール・卒業後のことなどを全員に説明し理解した人だけ面接及びプレテストを行って申請するようにしているので今まで問題は発生していない。尚、セミナーの時質問があった場合は、現地スタッフも同行しているので現地語で質疑応答している。		
9 教育活動		
9.1 企画		
9.1.1	理念・教育目標に合致したコース設定が行われている。	[A]
9.1.2	教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計が体系的になされている。	[A]
9.1.3	レベル設定に当たっては、国内で又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしている。	[A]
9.1.4	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	[A]
9.1.5	教育目標に合致した教材が選定されている。	[A]
9.1.6	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	[A]
9.1.7	授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供している。	[A]
9.1.8	教員配置が適切になされている。	[A]
9.1.9	代講が生じた場合の授業準備及び実施が適切になされるよう代講の手順が定められている。	[A]
9.2 実施		
9.2.1	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	[A]

9.2.2	教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴等の指導に必要な情報を伝達している。	[A]
9.2.3	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	[A]
9.2.4	理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われている。	[A]
9.2.5	個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われている。	[A]
9.2.6	特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。	[A]
9.2.7	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定されている。	[A]
9.2.8	学習内容、時間割と学年暦、成績判定と修了要件の基準と方法、学習上の留意点、留学生活上の留意点、入管法上の留意点とこれらについての相談担当者の記載された文書を、入学時に学生に配布して	[A]

9.3 成績判定、授業評価

9.3.1	成績判定結果を的確に学生に伝えている。	[A]
9.3.2	学生に対して、学期終了時に成績判定の方法及び結果についての通知書(成績表等)を発行し、コース修了時には修了証又は卒業証書を発行している。	[A]
9.3.3	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。*	[A]
9.3.4	適切な評価態勢、方法、基準による授業評価を定期的に実施している。*	[A]
9.3.5	学生による授業評価を定期的に実施している。*	[A]
9.3.6	評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。*	[A]

* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)

クラス分け・記録・指導・成績判定など教育活動全体としては高い評価に値する。学生による授業評価は全体ミーティングで取り上げている程度なので今後定期的を実施するよう改善を進めていく。

10 学生支援

10.1	日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	[A]
10.2	住居支援を行っている。	[A]
10.3	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	[A]
10.4	交通事故等の相談態勢が整備されている。	[A]
10.5	適切な進路指導を行っている。	[A]
10.6	入国・在留関係事務担当者は、研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っている。	[A]
10.7	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	[A]
10.8	在留に関する学生の最新情報を正確に把握し、在留上問題のある学生に対して個別指導を行っている。	[A]
10.9	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。	[A]
10.10	過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	[A]

* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)

・現地での募集時や入学時のオリエンテーションで日常生活等の注意事項や情報提供を行っている。また年に2回以上の課外授業を行っており学生同士の交流が深まるようにしている。・入管法に関する情報は適宜学生への伝達及び個別指導を行っている。・在留関係については在留上の問題を発生させないためのより一層の体制整備への取り組みを行っている。

11 教育成果

11.1	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	[A]
11.2	卒業後の進路を把握している。	[A]
11.3	進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握している。	[A]

* 達成状況、課題、改善計画等(400字程度で記述)

学生の状況は基本的に把握している。・進路先に関しては定期的に進学先より報告を受けているが、全員の把握は難しい状況ですがFACEBOOKなどを充実させ学生や卒業生とのネットワーク強化の方向性を積極的に進める方向にしていきたい

* 小項目の評価は以下のとおりとする。

- A: 達成されている
- B: ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる
- C: 達成に向け努力している
- D: 達成されていない/必要性に気づいていなかった
- F: 該当しない